

～学生企画活動支援事業報告～

■ 障害のある子どもとその家族と支えあう ウィンターキャンプ ～みんなでなかよくなる～

平成22年2月20日(土)と21日(日)に「障害のある子どもとその家族と支えあうウィンターキャンプ～みんなでなかよくなる～」という企画を実施させていただきました。この企画の概要は、障害を持つ子どもとその家族とともに1泊2日のスキーキャンプを行い、子どもが普段体験することが難しい雪遊びや、宿泊活動という貴重な体験の場を提供するというものです。また、ボランティアの学生にとっても食事・入浴・就寝時など、障害をもつ子どもの生活により密着した支援を学ぶことができる貴重な場にもなっています。

当日は、ゲレンデで楽しそうに学生と子どもたちが触れ合う姿や、子どもたち同士がかかり合う姿が多く見られました。1泊2日の長い時間を共に過ごすことで、半日や1日のボランティア等とは違い、皆がより深く関わり合うことができました。子どもとその家族と関わる中で、日ごろの学生生活の中では経験することのできない貴重な経験や学びを得ることができたと思います。

このような貴重な体験の場をもつことができたのも、参加していただいたご家族から、ご支援いただいた学生支援課をはじめとする関係者各位のおかげです。

本当にありがとうございました。

記事：永井 久司 教育・発達基礎コース3回生



■ 奈良教育大学ポータル展

奈良教育大学ポータル展は、学生企画活動支援事業に採択された、学術情報センター図書館を使った展示企画です。ポータルとしたのは、自分の専攻や興味にとらわれず、さまざまなジャンルのものに興味を持ち、他分野の専攻・学科とも興味を広げられるようにしたかったからです。

今年度は学内サークルによるパネルや模型を使った日食の展示や、レバノンの日本をイメージして制作されたポスターの展示、学生の等身大彫刻の展示や図書館が所蔵する古美術写真資料の展示を行いました。小さな企画ですが、時々ただ一言やアドバイスを励みに続けています。年齢も分野も異なる人たちのものに触れ、一緒に空間を作っていく中でそれが身近なものになっていくとき、展示に来館者が気づいて視線をのびしてくれる瞬間が活動の中で何より楽しい時です。



大学とともに図書館も、私が入学してから少しずつ様変わりしています。今の図書館は利用しやすくなり、目が行き届いていて好きです。どんなものでも、愛着を持って使われた場所は育っていきます。今はまだ力不足ですが、図書館に関わらず、自分が出会ったものをよりよく変えていけるようになればと思っています。

記事：作佐部 蛭 大学院2回生

■ “奈教風” オペラを召しあがれ♪

平成22年3月21日(日)に学生オペラ『小鳥売り』の公演を行いました。毎年3月に音楽科の学生が中心となって行っている学生オペラは、今年で11年目、学生企画活動支援事業としては6年目を迎えます。今年のテーマは、“奈教風” オペラを召しあがれ♪。わかりやすくアレンジを加え、誰にでも楽しめる公演を目指して、練習を重ねてまいりました。

奈良教育大の学生オペラは、企画・運営からすべてを学生で行います。この公演の1年前に幹部を結成し、オペラを進めていくために何度も話し合いました。練習計画を立て、練習を進めたり、大道具や衣装製作を行ったり、広報活動をしたりなど、その活動は多岐にわたるものでした。70名という大人数でなにか一つのことをするという事は本当に大変なことで、その過程のなかでわたしたちは、コミュニケーションの大切さを学びました。

これまでたくさんの方の支えがあり、当日は多くのお客様に楽しんでいただけた公演ができました。オペラに関わっていただいたすべての方、また観に来ていただいたすべてのお客様に感謝しています。ありがとうございました。

記事：増村 里美 身体・表現コース4回生



■ 楽器ふれあいコンサート



私たちは、「ふれあいコンサート」として楽器を使い、地域の幼稚園や保育園に演奏会を開かせて頂いています。昨年度は、夏祭りやお別れ会にも出させて頂き、10か所以上の場所で演奏会をさせて頂きました。これは例年に比べて多く、私たちも嬉しく思っています。

また、ただ演奏するだけでなく、「楽器ふれあいコンサート」と題して楽器に直接触ってもらう時間を設けています。昨年度は、インフルエンザの影響もあり、実際に口をつけて吹く事が出来なかったのですが、打楽器を多く持って行ったり、各楽器を吹かずに楽しんでもらうためにはどうしたらよいかなどを考え、子供たちに楽しんでもらえるように工夫しました。

私たちも、様々な場所の保育園や幼稚園に行かせてもらう中で、地域によって子供たちの様子も違うという事を知りとても勉強になりました。その中でも、環境が変わっても、変わらずに演奏会を楽しんでもらうために、自分たち自身から楽しさを伝えようとする「楽しさを発信する」事の難しさを知りました。

子供たちの素直な反応に触発され、演奏会を重ねるごとに、演奏も良くなってきたと感じました。

何よりも、学生支援課で楽譜を買っていただけることになり、今子供たちの中で流行っている曲の楽譜を買う事が出来ました!!中でも、「Dragon Soul」(アニメ「ドラゴンボール改」オープニング・テーマ)は、とても人気で子供たちの喜んだ顔はとても嬉しかったです。

最後に行かせていただいた幼稚園では、園児が170人おり、人数の多さに圧倒されましたが、演奏会のお礼という事で、歌っていただいた170人の園児の合唱は、元気がすごくて、とても幸せを感じる事ができ、感動しました。170人の園児の合唱を聴く事が出来る機会は、今後あまりないだろうなと思います。

このふれあいコンサートを通じて、様々な経験をすることができ、改めて音楽の素晴らしさや、私たちにとっての音楽の大切さに気付かせて頂きました。

これも、私が様々な迷惑をおかけしても、親身になってご協力していただいた学生支援課の皆さまのおかげだと思います。

本当に1年間ありがとうございました。

記事：吉岡 佐歩 身体・表現コース3回生

